



【こしがや能楽堂 9月の主な催し物】

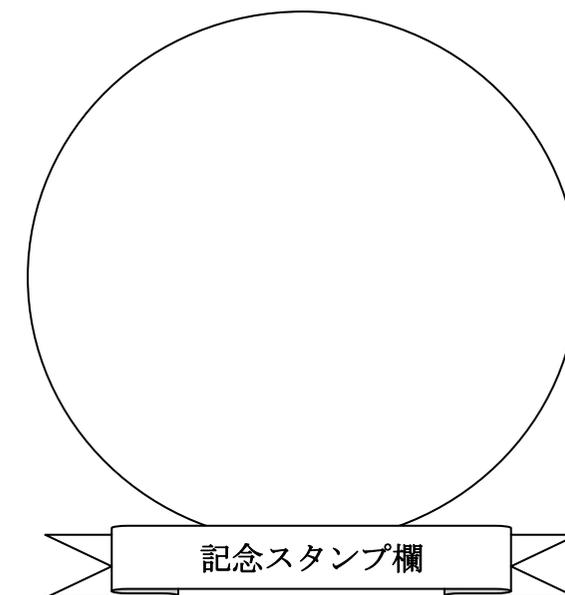
催物名	開催日	内容	入場料
こしがや薪能	9月10日(日) 16:50開場	「能楽講座」・「火入れの儀」 舞囃子：熊坂 狂言：文荷 能：竹生島	一般3,500円 学生1,000円
雅楽 ～東京楽所～	9月24日(日) 17:00開場	～ 月見の舞楽 ～ 「登天楽：右舞 桃李下：左舞」	一般2,000円 学生1,000円

はじめての能舞台

能や狂言が演じられるのは「能舞台」という専門の舞台であり、ホールや劇場などで目にする横長のものとは根本的に構造が異なっている。初めて能楽堂の能舞台を見た人が、まず不思議に思うのは屋根があること。もともと能舞台は寺社の境内などの屋外にあるのが普通だった。安土桃山時代には後座や鏡板が見られるようになり元禄時代には現代の能舞台とほぼ同じような形になった。明治になり建物内に能楽堂が造られたとき、その形がそのまま再現された。

4本の柱の存在も重要で、屋根を支えるだけでなく、「本舞台」と呼ばれる正方形の空間を創り出す。特に「目付柱」は面をつけて舞う演者にとって大切な目標ともなる。橋掛かりの存在も特徴的。演者が出入りするだけでなく、この世とあの世をつなぐ通路となったり、本舞台とは別の空間を表したりする重要な場だ。舞台が客席に突き出ているのは屋外で四方を人々に囲まれて演じていた頃の名残ともいえる。能舞台には緞帳はなく、舞台と客席を仕切るのは橋掛かりの奥の揚幕のみ。舞台と観客が一体となった伝統的な能の世界を堪能したい。

参考図書：柘出版社「ニッポンの伝統芸能」



- ◇ 住所：越谷市花田六丁目6番地1
- ◇ 電話：048-964-8700
- ◇ FAX：048-964-8622
- ◇ ホームページアドレス <http://nohgakudou.koshi-kannri.com/>
- ◇ 開館時間：午前9時～午後9時30分
- ◇ 休館日：毎週水曜日（祝日にあたる時は、その翌日）
年末年始（12月29日～1月3日）
- ◇ 能楽堂の見学は無料です。

こしがや能楽堂

検索

交 通 機 関	
東武スカイツリーライン・地下鉄日比谷線・半蔵門線・JR 武蔵野線	
新越谷駅・南越谷駅	越谷駅
北口から	東口（北側ロータリー）から
花田行き又は市立図書館行き	花田循環又は市立図書館行き
花田苑入口下車	花田苑入口下車